



平成 26 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ミスターマックス
代 表 者 名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問 合 せ 先 執行役員財務部長 葛原 亨裕
(TEL 092-623-1141)

業績予想及び配当予想の修正（中間無配）ならびに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 8 月 1 日の第 1 四半期決算発表時に公表した平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしました。併せて、役員報酬の減額についてお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	56,490	100	160	55	1.66
今回修正予想 (B)	55,806	△ 317	△ 284	△ 240	△ 7.25
増減額 (B - A)	△ 684	△ 417	△ 444	△ 295	—
増減率 (%)	△ 1.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	54,789	96	158	62	1.87

(2) 修正の理由

4 月からの消費税増税に伴う消費減退、夏季の天候不順による季節商品需要の落ち込みなどの理由で、既存店売上高前年同期比は上期当初見込み 98.0%に対し、95.2%と見込みを下回りました。また、利益率の高い季節商品が不振だったため、売上総利益率は 21.7%（前年同期比 0.1 ポイント改善）と当初予想を 0.3%下回りました。一方利益面では、新規出店に伴う経費の増加が予想を上回り、営業利益、経常利益、四半期純利益は予想を下回る見込みです。以上の結果として、営業収益は 558 億 6 百万円（前年同期比 1.9%増）、経常損失 2 億 84 百万円、四半期純損失 2 億 40 百万円と増収減益となる見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、外部専門家を活用し、事業の再構築や将来の成長に向けた中期経営計画を策定中であることから、未定とさせていただきます。

今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (平成26年8月1日発表)	—	5.00	—	5.00	10.00
今回修正予想	—	0.00	—	未定	未定
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年3月期)	—	5.00	—	5.00	10.00

(2) 修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、これまで、安定的な配当を継続してまいりました。しかしながら、今回の業績修正を踏まえ、第2四半期末の配当（中間配当）は、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

なお、通期業績予想を未定とすることから、期末の配当予想につきましても未定とさせていただきます。

3. 役員報酬の減額について

この度の業績予想及び配当予想の修正を行いましたことを真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、取締役の役員報酬の減額を実施します。

(1) 役員報酬の減額内容

取締役 報酬月額20%を減額

(2) 対象期間

平成26年11月から平成27年6月まで

(注) 本資料における業績予想は、当社の本資料発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって本資料記載の業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上